

# あずまこていね

しい

生活支援体制整備  
事業ってなあに？

春子さんと夏子さんは  
こんな会話を・・・

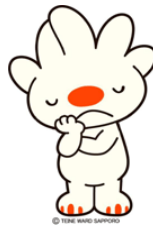


「地域で支え合うしくみづくり」のことで、話し相手、外出時の付添、掃除などのちょっとしたお手伝いを必要とする高齢者が、いつまでも安心して暮らせるよう、町内会、地区福祉のまち推進センター、民生委員・児童委員、老人クラブ、地域包括支援センター、社会福祉法人、NPO法人、地域企業などが一体となった、身近な地域での支え合いの仕組みづくりを推進し、お互い様の地域づくりを目指していきます。



①春子「この間、いい天気だから買い物に行こうと思ったんだけどさ。昨年の冬に、凍った道でうっかり転んじゃってさ・・・。  
あれから出かけるのが怖いんだわ」

夏子「怖いよねえ」



②春子「帰りの道を荷物を持って歩くのがきついのだ」

夏子「うちも近くのお店がなくなっちゃってさ。でも遠くに住んでいる家族に、たいしたことない買い物のために呼べないのだ」

「そうそう！ちょっとしたことなんだけど困ってるんだよね～」



③春子「〇〇スーパーで買い物すると、品物を届けてくれるサービスがあるよ。一緒に行かない？」

夏子「そういえば、買い物にちょっと困っている人向けに、買い物バスを走らせている所があるって聞いたよ」



④春子・夏子

「地域のいろんな人が意見を出し合うことで、ちょっとした困りごとが解決するような仕組みがあるといいよね。」



こんなふうに、地域で支え合うしくみづくりを目指していきます。  
地域を回って歩いている生活支援推進員に、皆さんのお声を聞かせてください。

\*本会のホームページにもお役立ち情報を掲載しています。下記のように検索してください。



# せいかつし えんすいしんいん 生活支援推進員

# みてあるき 見て歩記



生活支援体制整備事業（地域で支え合うしくみづくり）を進めるために、地域で暮らす皆さんの、日常生活で気になること・困っている事・こんな風にしたいということを探ねて歩き、支え合いのお手伝いをするのが生活支援推進員です。

## まえた 健康づくりとおしゃべりのつどい



【6月18日（火）於 前田会館】

「目指せ！ 前田の“お元気さん”」を合言葉に、今年度から前田地区福祉のまち推進センター主催による“つどい”がスタートしました。

当日は、“お元気さん”を目指した11名と講師・関係者合わせて21名がつどい、「ふまねっと運動」に挑戦しました。

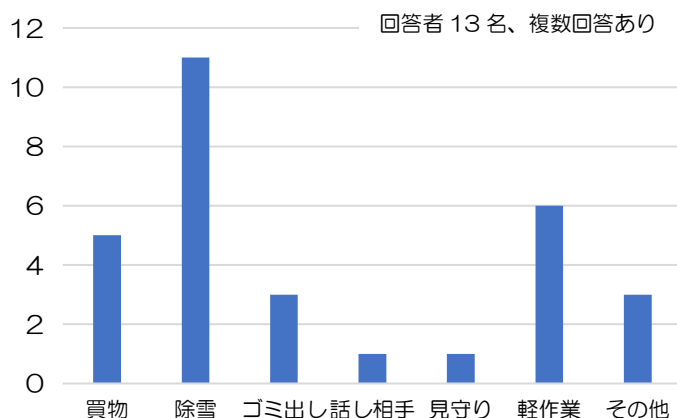
「ふまねっと運動」とは、50センチ四方、24のマス目でできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにゆっくり慎重に歩く運動です。

最初は手拍子に合わせて両足を1歩ずつマスに入れるところから始まりましたが、難しくなるにつれて、次はどちらの足を動かすのか一瞬考えてしまう方も。それでも最後はハイタッチや拍手でお互いにたたえ合いながら運動を楽しみました。



また、参加者の皆さんにはアンケートにご協力いただき、日頃の「困りごと」の内容がわかりました。

「これからも前田地区で暮らしていくために誰かほかの人に手伝ってもらえたらいいな、と思うことは…？」



参加された皆さんの声より

- ・「庭仕事や掃除を手伝ってもらえたらいい」
- ・「草取りをやっていただけると一軒家に住み続けることができると思う」
- ・「学生さんの授業の中でボランティア活動で単位をとれたらいい」

ご協力どうもありがとうございました！



社会福祉法人 札幌市手稲区社会福祉協議会

住所 札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階

電話 (011)681-2644 FAX (011)684-8650

手稲区社協ホームページ <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/teine>